

# パネル発表「幼稚園における動物飼育と保育への展開」

北口裕之

1 動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。

2 動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。

3 動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。

4 動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。

5 動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。動物飼育は、子どもにとって、動物と関わり、動物の生態や生活環境の観察、飼育の経験を通じて、動物の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、動物の大切さを学ぶ機会となる。

として二人の用りど  
じと易い、そ活わな  
感点容なとてに関と  
り利的少こし育のこ  
よの較のいそ保とる  
に羊比險安、の間き  
事、が危がと際人  
る育にトこ実と験  
すい飼察ス、物体  
験てび観コな等動に  
体え及、持少作、的  
接考入育維が制り体  
直と導飼の気よ具る。  
てい、等病内に、れ  
いしそと代の園事的  
つほ、こ餌通をる接  
にては、共毛き直  
係ってと畜羊でをが



＜ヒツジ当番＞

## 5 羊毛を用いた保育

羊毛を用いた保育は、子どもにとって、羊毛の観察、羊毛の取り扱い、羊毛の加工などを通して、羊毛の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、羊毛の大切さを学ぶ機会となる。羊毛を用いた保育は、子どもにとって、羊毛の観察、羊毛の取り扱い、羊毛の加工などを通して、羊毛の命の尊厳や生命の大切さ、自然の素晴らしさ、環境の大切さ、社会の大切さ、人の大切さ、羊毛の大切さを学ぶ機会となる。



＜フェルト製作＞

(学校法人北口学園太平寺幼稚園 理事長)